

## アクアバランサー基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

作物名

露地栽培野菜

大根、ごぼう、たまねぎ、サトイモ、じゃがいもなど

使用例 < 10 a (1反) あたり >

時期	使用量	希釈率	使用方法
育苗	300cc × 3 回	約300倍	期間中 1 週間おきに 3 回ポットに散布 (根張り強化、樹勢強化)
土作り	10L	約100倍	堆肥すき込み時又は定植約 1 ヶ月前に土壌散布 (植物性残留物質分解 土壌強化) (有用微生物とその生成物質供給)
定植後	500cc × 3 回	約500倍	7 日おきに灌水で適宜散布 (根張り強化、活着促進)

\* 使用量、回数、希釈率は基本参考数値です

使用上の注意

☆ 殺菌剤・殺虫剤、石灰チツソの併用は避けてください

☆ 通常の灌水量に希釈率をあわせて散布してください

使用効果

アクアバランサー使用生産者から以下の効果が報告されています

- ・ 葉の色つやがよかった
- ・ 日持ちがよかった
- ・ 収量の増加
- ・ 病気が減った

- ・ 農薬の使用量が減った
- ・ 根の張りがよくなった

多様な微生物・酵素・アミノ酸・ミネラルの力で痩せた土壌は改善されます。有機な土壌もアクアバランサーを併用することでさらに収量アップ・病気が軽減します。

年々、継続使用することでより土壌が強くなり品質も向上し、農薬コスト削減につながります。

●完熟堆肥とアクアバランサーを併用すると、微生物群がさらに活性化してより効果を発揮します●

\* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。

製造元 有限会社 クローネ

大分県 大分市 皆春 166-5